

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10

国立公文書館	
分類	③ ④
配架番号	3 A
	14
	56-23

試製七糧噴進砲説明書

164/6

試製七機噴進砲說明書 目次

總 說

第一編 構造及機能

第一章 砲

第一節 砲 身

第二節 脚托架 脚

第二章 取 扱

第一節 分解結合

第二節 砲

第三章 射撃姿勢及射撃上ノ注意

第一節 射撃前ノ注意

第二節 射撃間ニ於ケル注意

第三節 射撃後ノ注意

第四章 保 存

第一節 砲 身

第二節 脚托架

第三節 脚

第四節 砲 身

第五節 脚托架

第六節 脚

第七節 砲 身

第八節 脚托架

第九節 脚

第一節 日常入手入

圖真第一 飛行姿勢

圖真第二 同

圖真第三 砲(全射)

圖真第四 擊發後

圖真第五 射擊姿勢(裝填)

圖真第六 同

圖真第七 砲品(背負具)

附圖第一 總全休

第二 砲身組立

第三 砲身組立

第四 發火裝置組立

第五 發火裝置

第六 脚組立

第七 六脚脚組立

第八 土脚品質車

第九 土脚品質車

第十 土脚品質車

第十一 土脚品質車

第十二 土脚品質車

第十三 土脚品質車

第十四 土脚品質車

第十五 土脚品質車

第十六 土脚品質車

第十七 土脚品質車

第十八 土脚品質車

第十九 土脚品質車

第二十 土脚品質車

第二十一 土脚品質車

第二十二 土脚品質車

第二十三 土脚品質車

第二十四 土脚品質車

第二十五 土脚品質車

第二十六 土脚品質車

第二十七 土脚品質車

第二十八 土脚品質車

第二十九 土脚品質車

新製七機噴進他説明書

第一 總説

第一 本機ハ對戰車攻撃ヲ主目的トスル噴進他テ彈丸ハ旋動式噴進ヲ
申請彈ヲ使用ス

他ハ前方他身(前身)後方他身(後身)ノ二本機キトシ機及機
銃等ノ主要部ヨリ成リ部品トシテ背當機背當機防盾布防盾板
銃ねじ逃(小)自在「スパー」(小)各一ヲ持ツ

機行スルニハ機與第一二ノ如ク前方及後方他身ヲ分離シ脚ヲ前
方ニ倒シ背當機ニテ背當機ヒ一人ニテ機行スル

本機ノ主要部元附表第一ノ如シ

第一圖 第一



此は三脚架に支えられた望遠鏡の設置方法を示す。望遠鏡は三脚架の中央に固定され、水平に調整されている。背景には木々や建物が見え、野外での使用を示唆している。

第二圖 第二



この図は、望遠鏡を三脚架から持ち上げる動作を示している。持ち手は望遠鏡の下部をしっかりと握り、慎重に持ち上げる必要がある。

第一編 構造及機能

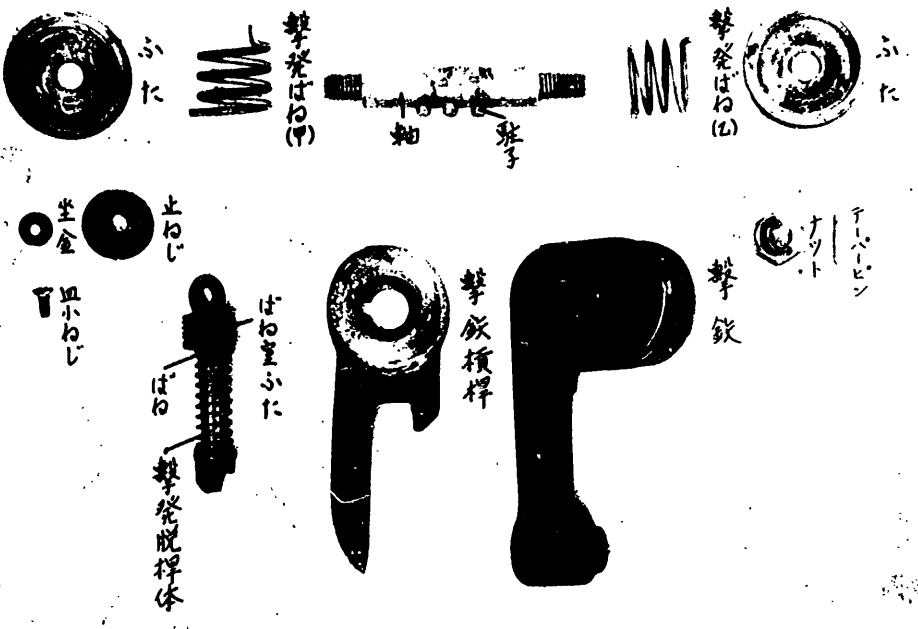
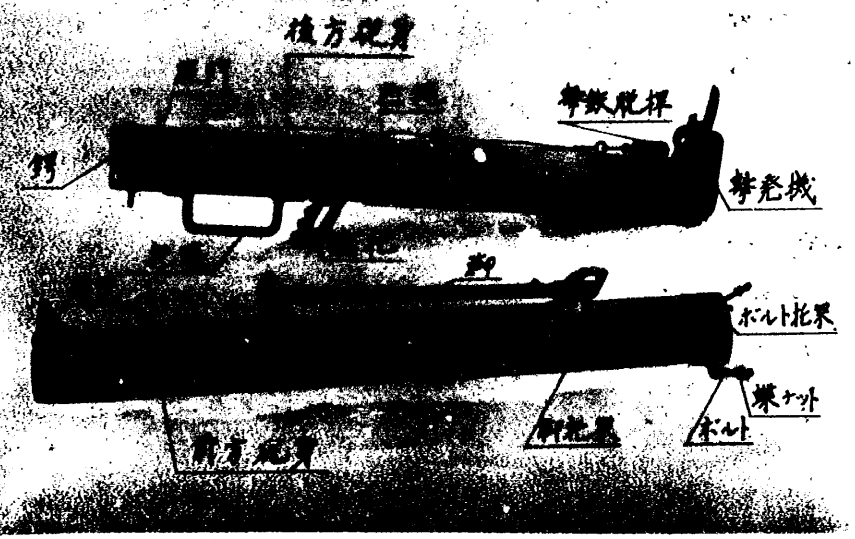
第一章 第一節 他

身

- 第一 他身ハ前身後身兼發機照星照門ヨリ成ツテキル
- 第二 前身ハ兩端開取セル厚サ二七五〇ミリ内徑七四〇ミリノ圓筒
- 第三 体ヲ前方左側ニ照星カ接合セラレテキル後方ニハ脚托架ヲ接合シ後端ニハ接合筒カ接合セラレテキル
- 第四 接合筒ハ厚サ二七五〇ミリ内徑七八ミリノ圓筒体ニシテ前身後端ニ接合セラレ外周ニ三箇ノ「ボルト」ヲ接合シ之ニ軸止メメセル「ボルト」ニ依リ後身ニ結合固定サレル
- 第五 照星ハ前身後端左側ニ取付ラレテキテ五〇ミリ及一〇〇ミリニ應スル固定式ノ照星デアアル
- 第六 後身ハ前身同様兩端開取セル厚サ二七五〇ミリ内徑七四〇ミリノ圓筒体ヲ前身後端ニ接合シ「ボルト」ト結合スル為メ三箇接合セラレテキテ尙側面ニハ照門カ接合セラレテキル

1. The first step is to identify the problem or question that needs to be answered. This involves understanding the context and the specific requirements of the task.

林氏年安不病



第二節 脚托架

八 脚ハ脚托架及脚托二部ヨリ出来テキル脚托架ハ脚托ニテ

付ラレ下方ハ鉄ナ脚托ト連結サレテキル内部ニ止金及リ

シ外方ヨリ止力取付ラレテキル止金ハねテテ高ニ押上ケラレ脚

托架ノ切込ニカカリ脚ノ姿勢變快ニ際シ止ラ押下テ入ロトニヨリ

止金ハ脚托架トノ鉤解カレル機行スル場合ニハ前方ニ倒ス

第九 脚托ハ脚托架ニヨリ脚托頭ニ連結シ下端ニ組織力増強セラレテ

第二編 取 扱

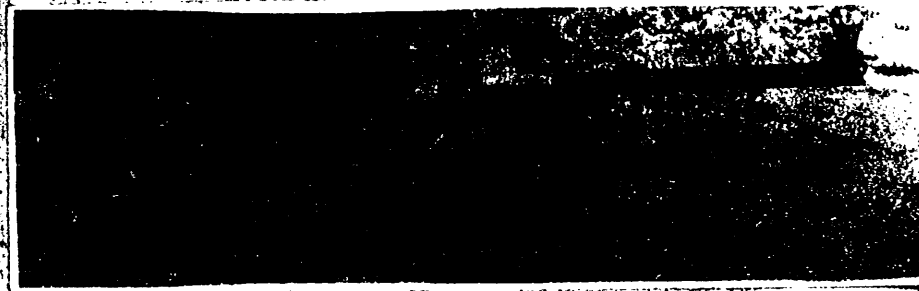
第一章 分解結合

第一節 他 (編第三四参照)

第十 他身ヲ分解スルニハ脚「アット」ヲ扶同シ「ホルト」ヲ鋸ヨリ断

断シタル後脚身及後身ヲ反対方向ニ牽引シテ分離スル

第十一 脚托架ノ分解ハ脚托架ノ順序ニ行フ

[illegible]

第二節 射撃前ノ注意

第十 射撃前ニハ次ノ事ニ注意スル事カ必要ナル

1. 主要部分ニハ過度ニ油スル事

2. 各部完全ニ組合カシテアルヤ否ヤヲ確認スル特ニ他身ノ組合ニ注意スルコトカ必要ナル

3. 各部ノ機能カ良好ナルカ否カヲ點檢スル

第三節 射撃間ニ於ケル注意

第十五 射撃間ニハ次ノ事項ニ注意スルコトカ必要ナル

1. 發射ヲ行フニハ信管ヲ確認シナイ様ニ注意シ彈尾ヲ確認ニ彈丸止ニカケル

2. 不發火ヲ生シタル場合ハ留クシアカラ再ヒ發射ヲ行ヒ尙不發火ノ

時ハ當ク待ツテカラ彈丸ヲ發方ニ提出シ彈針カ簧管ノ中心ニ當ツ

テキルカ否カヲ確認シ富ツテキナイ場合ニハ再ヒ發射ス 此ノ場合

彈尾ヨリ眺ミ込シテハナラナイ

3. 相次ぎ時ニ且ツテ射撃ヲ行フ時ハ射撃ノ合間ヲ利用シテ各部ノ

故障ヲ點檢シ彈丸ノ位置ヲ確認シテ再ハニ組合シテキルカ否カヲ確認スル

有誤病ノ類ニハ増減油ニヨリ地盤ヲ致事ス虞アリルカラニハ在
意スル必要カアル

第四節 別添ノ注意

第十本 別添ニハ次ノ事項ニ注意スルコト

ハ其ノ別添シタ爲ニ損傷シタ場所カ有ルカ否カラ點檢シ其狀ノアルモノ
ハ其ノ原因ヲ察シテ予ムレ火ハ修繕等ノ處置ヲスル

ハ其ノ別添シタ爲ニ損傷シタ場所カ有ルカ否カラ點檢シ其狀ノアルモノ
ハ其ノ原因ヲ察シテ予ムレ火ハ修繕等ノ處置ヲスル

ハ其ノ別添シタ爲ニ損傷シタ場所カ有ルカ否カラ點檢シ其狀ノアルモノ
ハ其ノ原因ヲ察シテ予ムレ火ハ修繕等ノ處置ヲスル

ハ其ノ別添シタ爲ニ損傷シタ場所カ有ルカ否カラ點檢シ其狀ノアルモノ
ハ其ノ原因ヲ察シテ予ムレ火ハ修繕等ノ處置ヲスル

ハ其ノ別添シタ爲ニ損傷シタ場所カ有ルカ否カラ點檢シ其狀ノアルモノ
ハ其ノ原因ヲ察シテ予ムレ火ハ修繕等ノ處置ヲスル

第三編 保存

第一章 手入

第十七 各部ノ手入ハ兵器保存要領ニ依ル外特ニ本章ニ示ストコロニ從フ

第一節 日常ノ手入

第十八 日常ノ手入後ハ白蠟部カ發錆シナイ程度ニ塗油シアマリ多量ニ

塗油シナイ事

第十九 ねじ部ノ手入ハ特ニ丁寧ニ行ヒ發錆等年セサル様特ニ注意スル

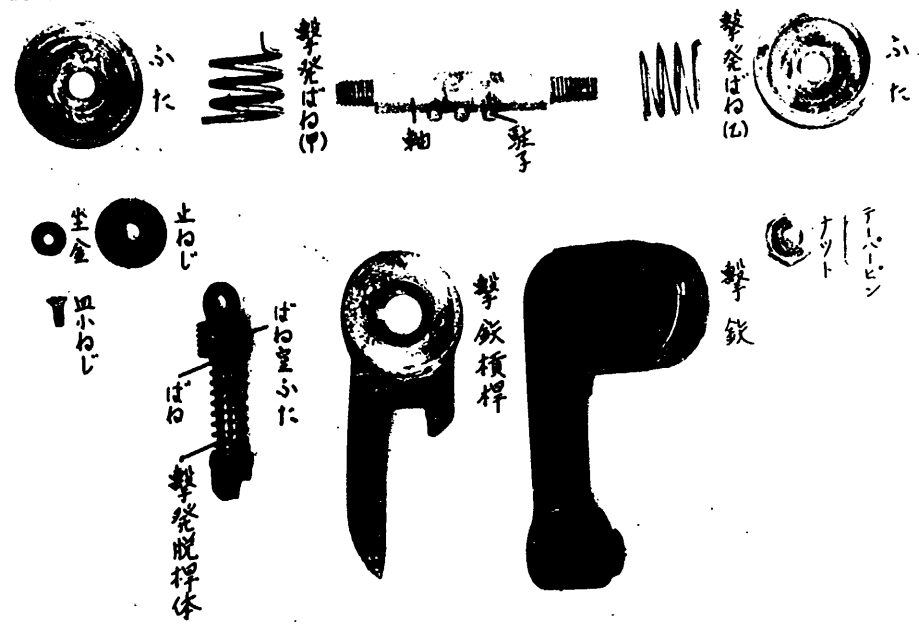
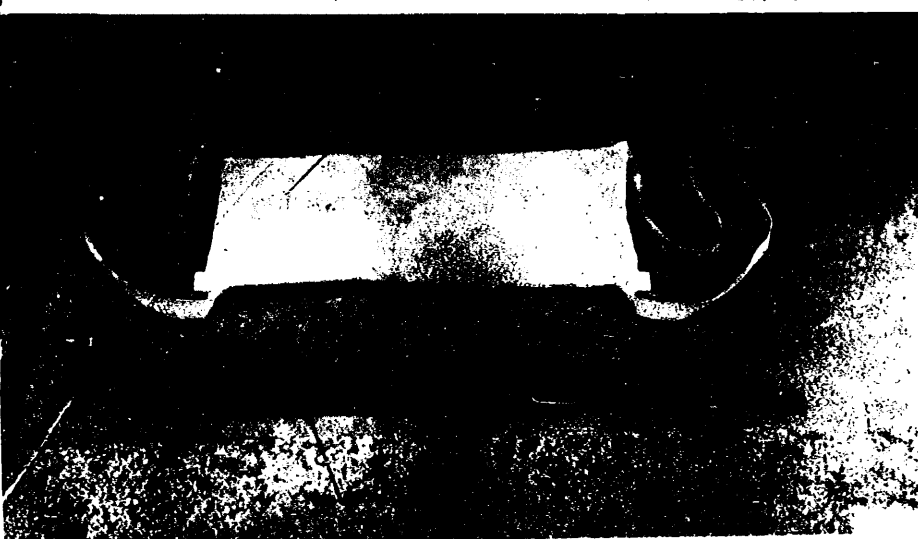
コト

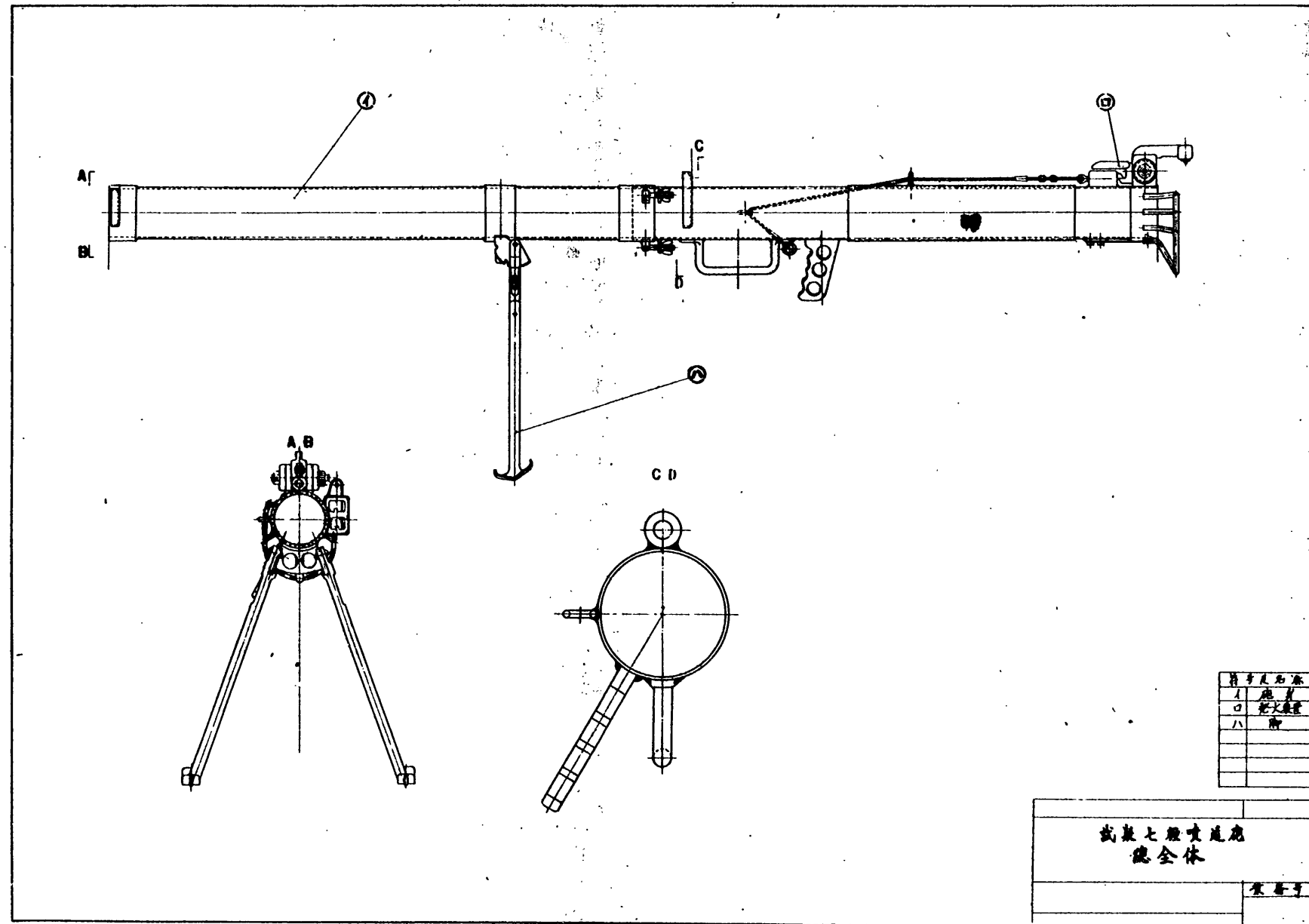
第二十 機身内部ノ手入ヲスル時ハ幣ニ消滅シ後過度ニ塗油シ置クコト

口 肉 金 擊 全
後 厚 長 發 備
備 重 量

七 四 粒
二 粒
一 五 〇 粒
擊 發 式
約 八 粒

品 (荷 具)

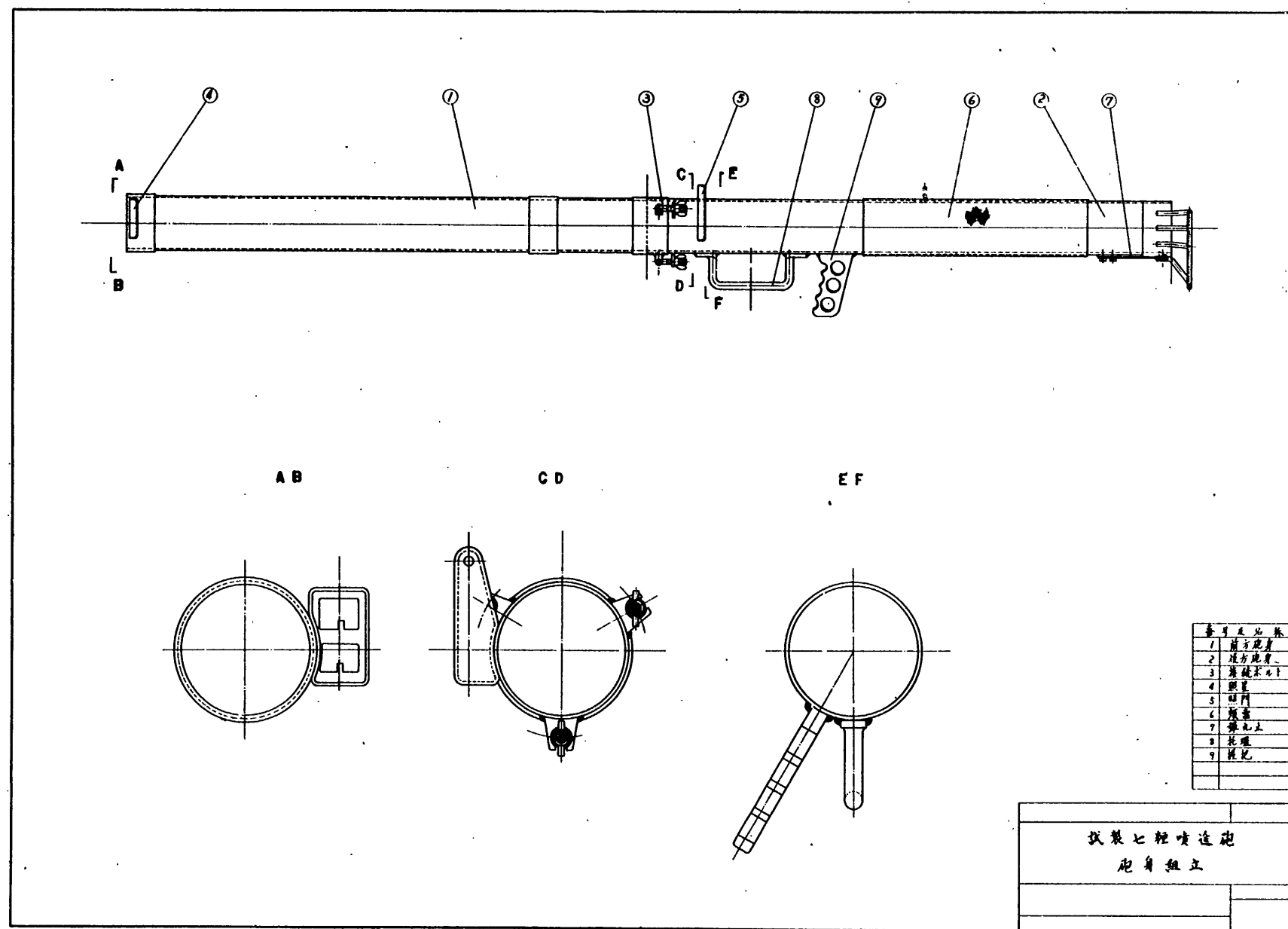




裏面白紙

番号	名称
1	砲身
2	砲口
3	砲尾
4	砲架
5	砲座
6	砲輪
7	砲脚
8	砲柱
9	砲筒
10	砲口

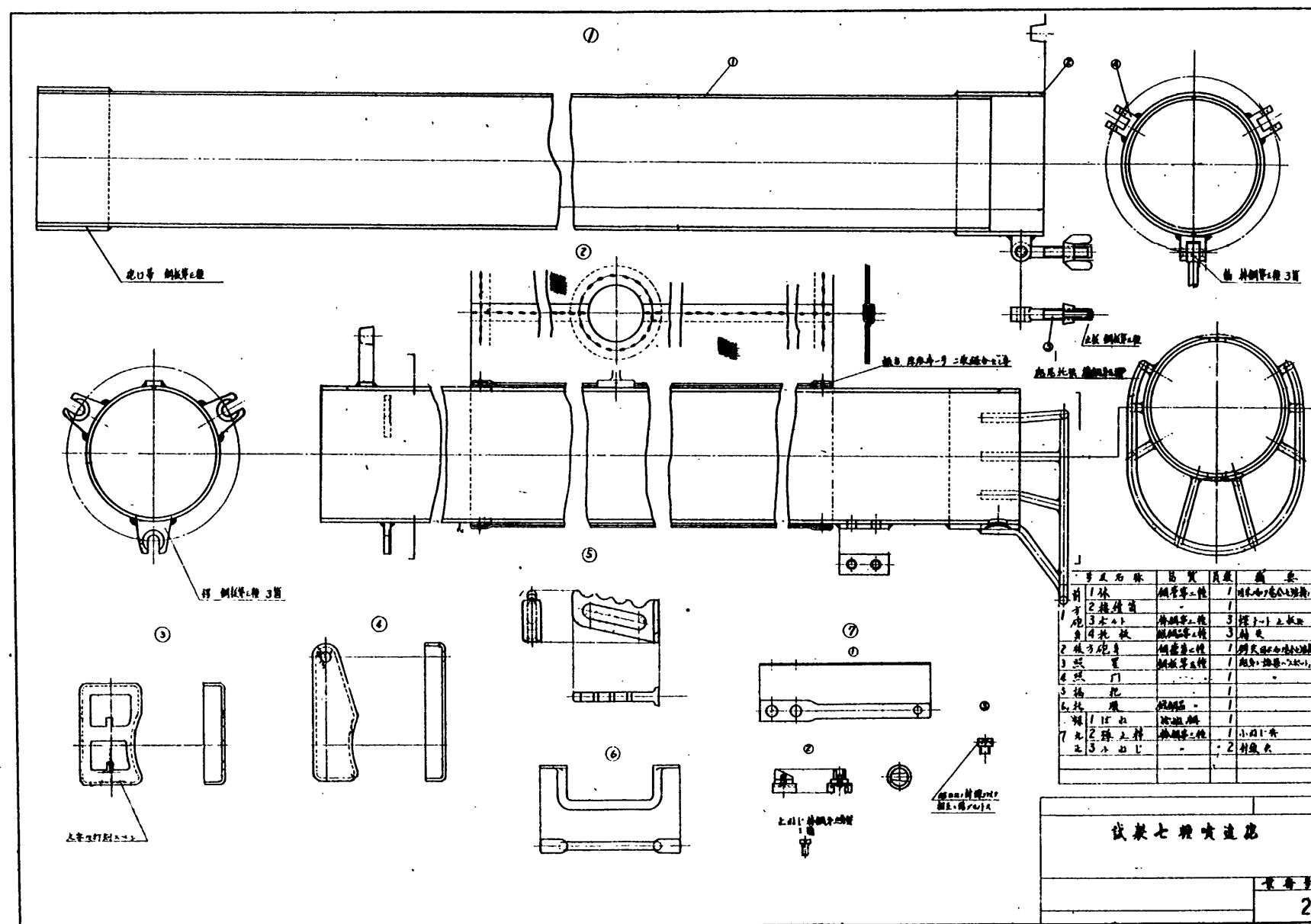
砲身七段噴進砲	
砲全体	
全長	1.5m
口径	100mm
重量	150kg

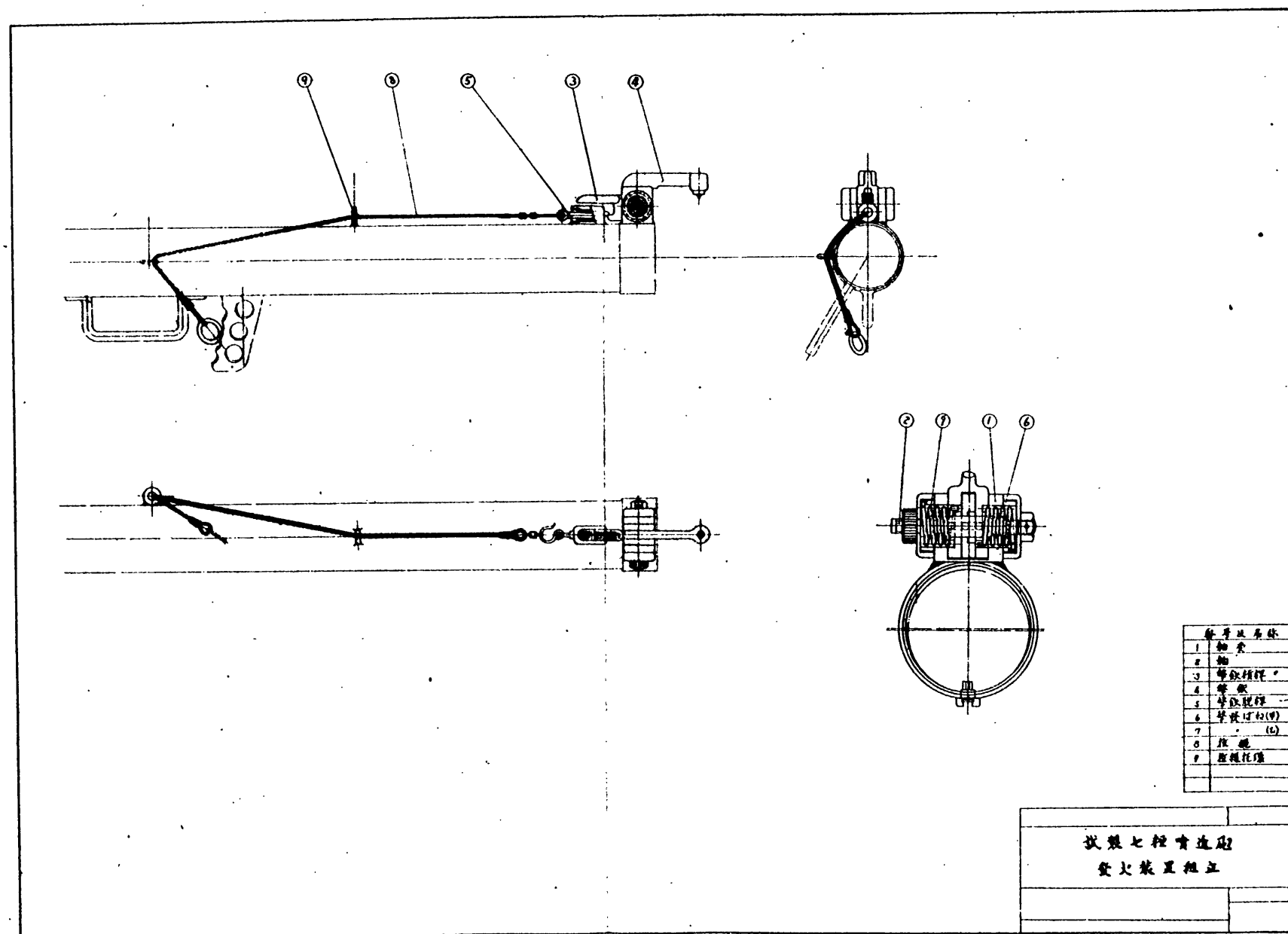


裏面白紙

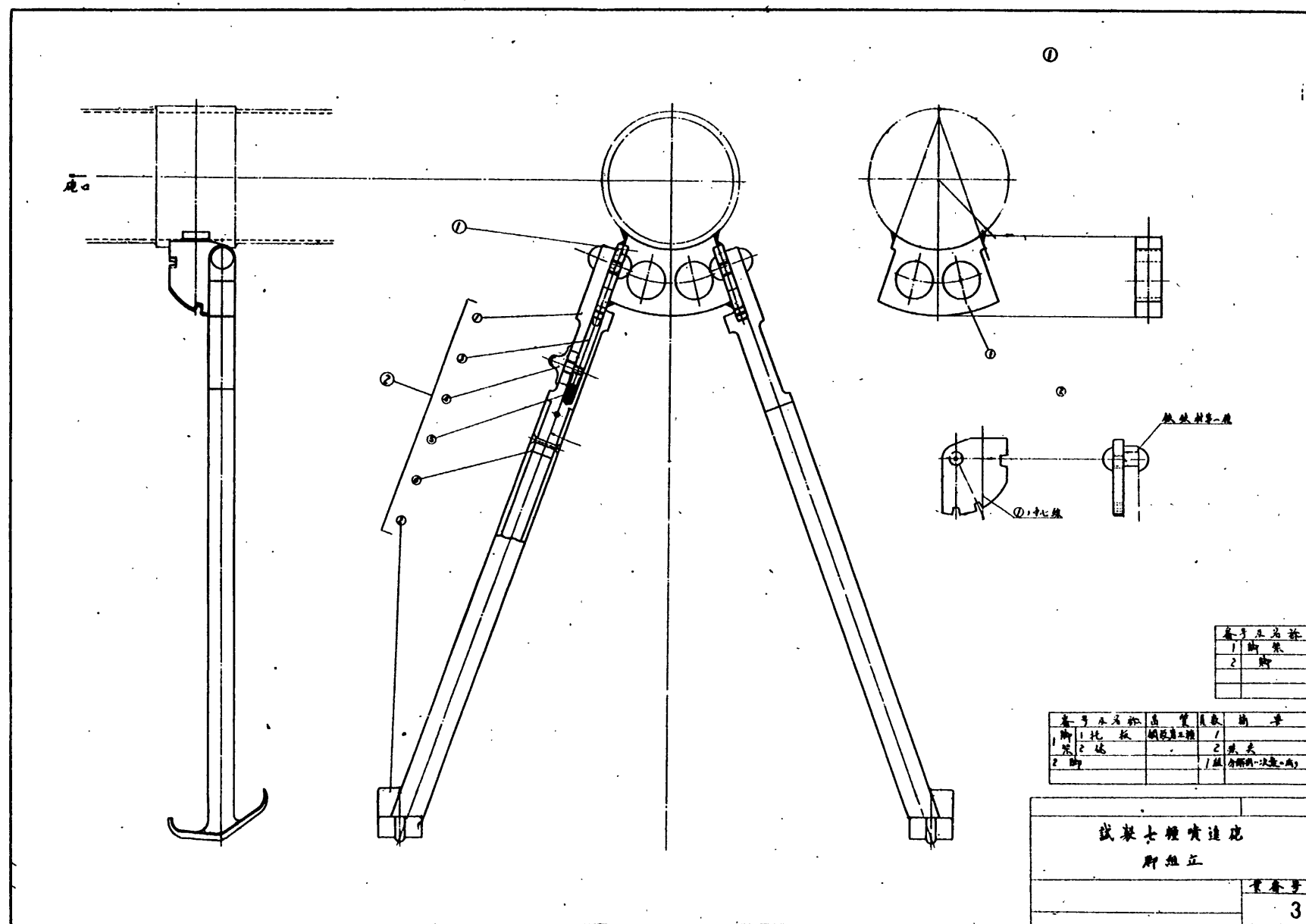


裏面白紙

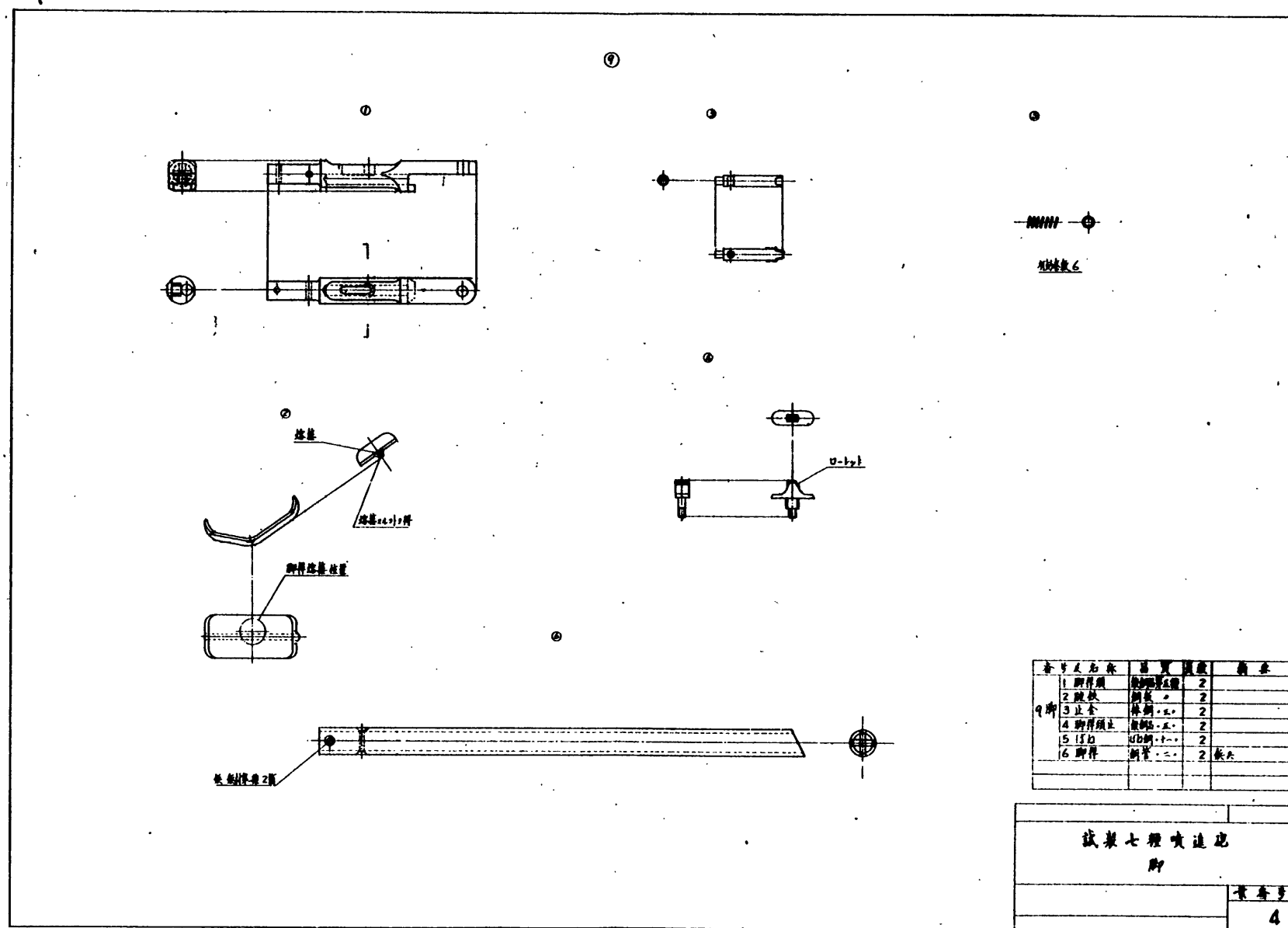




裏面白紙



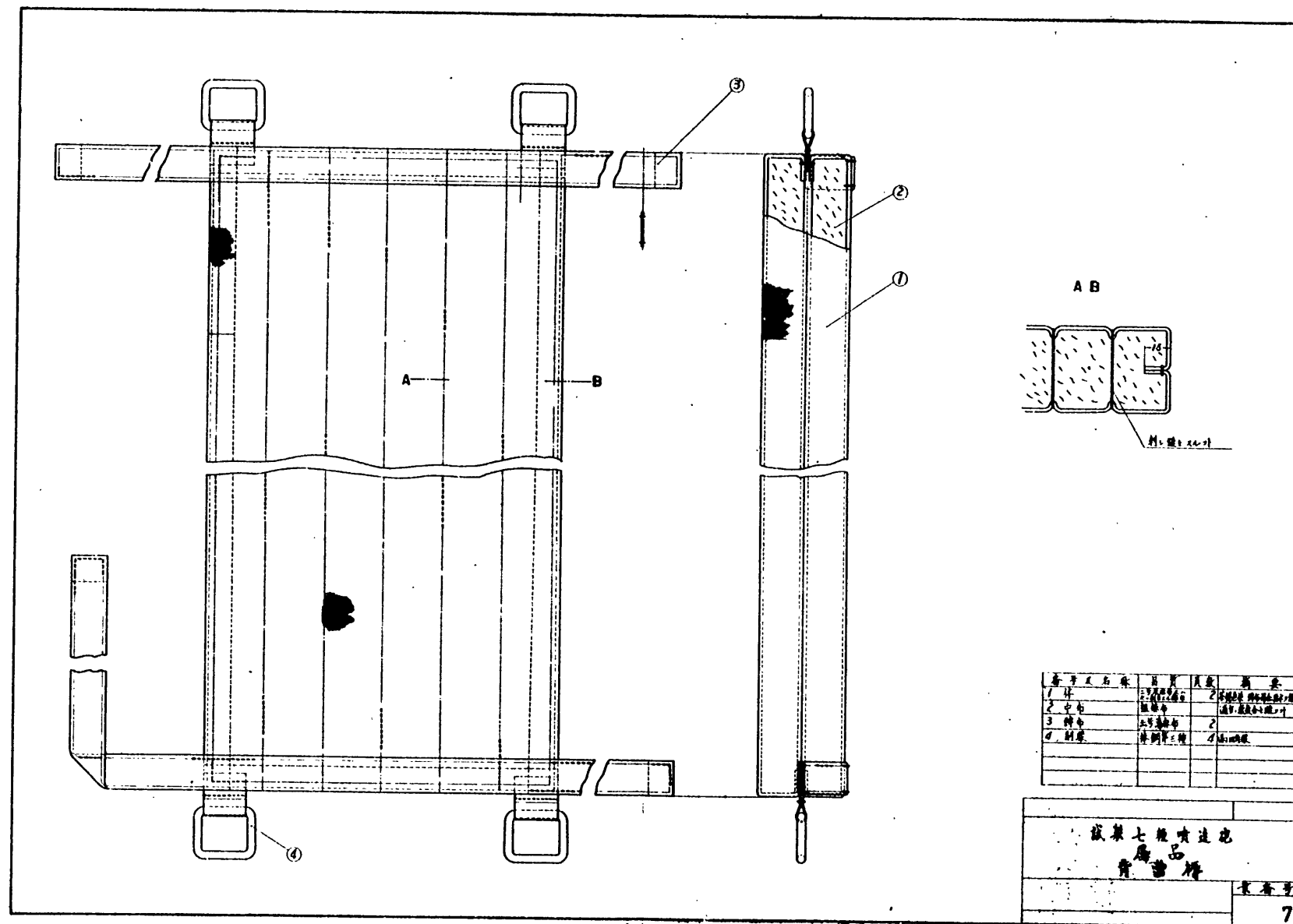
裏面白紙



裏面白紙



裏面白紙



番号	名称	数量	単位
1	表紙	1	枚
2	裏紙	1	枚
3	中綴	2	枚
4	綴り	2	枚

表紙七巻噴造	青書
7	



裏面白紙

